

むきぼんだ花だより

7月

2015. 7. 4

「虫こぶの小さき命浅り中」

もと

キキョウ科ホタルブクロ属
花色には赤紫のもの白とがあり、
関東では赤紫が、関西では白が多い。



ホタルブクロ

リョウブ科リョウブ属
平地から温帯域まで広く見られるが、
森林を構成する樹種というより、
パイオニア的傾向が強い。



リョウブ



オオバノトシボソウ

ラン科ツレサギソウ属
明るい林縁や草地に生える

アカメガシワ (雄)



アカメガシワ (雌)

ミツバウツギ科ゴンズイ属
樹皮の模様が、魚のゴンズイに似ている、
あるいは役に立たないところが似ている、
などその名のついた魚との関係がありそう



ゴンズイ



サルトリイバラ

サルトリイバラ科シオデ属
雌雄異株で、4~5月になると葉腋より
散形花序を伸ばし、多数の花を付ける。
ルリタテハの幼虫が食草とする

モクレン科モクレン属
果実は集合果であり、
にぎりこぶし状のデコボコがある。
この果実の形状がコブシの名前の由来である。



コブシ



タブノキ

クスノキ科タブノキ属
照葉樹林の代表的樹種のひとつで、
各地の神社の「鎮守の森」に
よく大木として育っている。

ウルシ科ウルシ属
俳句の世界では秋に美しく紅葉する
ハゼノキを植紅葉 (はぜもみじ) とよび
秋の季語としている。



ヤマザクラ



ハゼノキ

バラ科サクラ属
日本の野生の桜の代表的な種で、
和歌にも数多く詠まれている。
多くの場合葉芽と花が同時に展開するので、
これがソメイヨシノと区別する大きな特徴となる。

3年前の観察会で撮影した
開花ピーク時期のネムノキ

今年の観察会で
撮影したネムノキ
(マメ科ネムノキ属)

● 県外参加者の独り言

花カルタの作成準備会のときに、ネムノキのことでエピソードがあることを聞いてから、エピソード公開のきっかけになるようなきれいな写真を撮ろうと狙っていたのですが、観察会のときはピークを過ぎてしまっていて、元気な画像は得られませんでした。(残念)

話しは変わりますが、6月後半に娘や孫らと南の島を旅しました。沿道やホテルの庭には濃い朱色のピーcockフレーザーが樹冠を覆うかのように咲き誇っていました。南の島の暑い太陽を、狂気しているかのような咲きっぷりです。近寄って葉っぱを見たら、レッレレ〜!!!、これってネムノキの葉と同じです。花の形は似ても似つかないのに両方ともマメ科なんです。

ピンクのグラデーションは、
花弁ではなく雄しべです。
ネットの動画から
開花(雄しべの伸びる)様子が分かります。

開花前の蕾

伸び始めた
雄しべ

開いた
雄しべ

マメ科ジャケツイバラ属

ボンボンのような雄しべ

足元を見るとネムノキのように
雄しべのボンボンが転がっていました。

その雄しべはネムノキより長く、
本数も多く球状に近いほどです。
でも花以外は、幹も、枝も、葉も
ネムノキとは全く違う植物でした。
南の島の不思議な植物でした。

フトモモ科フトモモ属

★むきばんだを歩く会★

- 指導：鷲見寛幸先生(鳥取県自然観察指導員)
- 毎月第1土曜日午前9時30分～正午
- 入会金 2000円 毎回資料代 300円 いつでも、どなたでも入会可能です
- 問い合わせ：むきばんだ応援団「むきばんだをあるく会」